

2024年度

二チイキッズ浄心保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月1日（水）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月13日（木）
	実施方法	話し合いにより職員全員で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶおもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し寄り添い、「子どもの最善の利益」を念頭に一人ひとりの育ちに合った援助をおこなう。子どもの健やかな成長を共に喜び合える保育室にしたい。
子どもの発達援助	子どもの姿を予想した保育計画を立案し日々保育を行っているが、計画に捉われず、子ども主体で活動を決めるなど柔軟な対応が必要となってくる。「やってみたい！」を発見出来るような環境作りに努めていきたい。
保護者に対する支援	送迎の際に子どもの様子を伝え、会話を通してコミュニケーションをとるように心掛けた。行事や保護者会を開催して保護者間でも交流できるよう取り組むことができた。
保育を支える組織的基盤	外部研修や園内研修を受講しスキルアップを図った。定期的に職員会議を実施し、事例集などを基に危険箇所や事故防止に努めていきたい。専門書や研修にて更なる質の向上を目指す。

総評
今年度は特に不適切保育について考える機会を多く取り入れ、職員全員で対話を重ね意識改革に取り組むことができた。「子どもの最善の利益」を念頭に保育計画をたて、食育活動を通して子どもの興味・関心を深めながら子ども主体の保育を実施することを心掛けた。次年度に向けては、安全計画・避難訓練計画・研修計画を今年度以上にしっかり取り組み、さらなる保育の質の向上に努める。また子ども主体の保育を心掛け、楽しく安全に生活できるよう保育環境を整える。常に相談しやすい雰囲気を作り、保護者とのコミュニケーションを通して信頼関係を深めていきたい。